

3年目を迎えた「シルクロード観光年」 定番素材の掘り下げや新たな資源の開発を

1980年4月にスタートした番組「NHK特集:シルクロード」(「絹の路」)は、視聴率が毎回20%前後という大ヒットとなり、1980年代の中国旅行ブームも引き起こしました。

日中国交回復が実現した1972年に企画された番組は、中国側との撮影交渉が難航を極め、改革開放路線に転じた後の1978年10月に来日した鄧小平副首相への直訴を通じて撮影許可が下りたという経緯は、国交回復

後における中日関係の発展も反映するものでした。

シリーズ第1集「遙かなり長安」の舞台となった西安は、日中国交回復45周年を迎えた今年、シルクロードの「起点都市」として改めて脚光を浴びています。中国国家観光局は、カザフスタン、キルギスと共同申請していたシルクロードの世界文化遺産登録が2014年に実現したのを受けて、2015年を「シルクロード観光年」と設定、今年も「昨

年と昨年に続いて展開することを決めました。

西安の街は、明の時代につくられた城壁で囲まれており、その巨大さと堅牢さに往時の繁栄がしのべれます。歴史を肌で感じられる城壁内の街歩きだけでなく、城壁の外側でも、世界文化遺産の構成資産である大雁塔、殷周時代の青銅器や唐代の壁画などが展示されている陝西省歴史博物館、郊外には楊貴妃ゆかりの場所として知られる風光明媚な華清池など、いにしへの中国との出会いも楽しめます。

2010年1月に開業した西安／鄭州間の新幹線を利用すれば、西安の兵馬俑、洛陽の龍門石窟や少林寺などを1日で回ることも可能で、高速鉄道時代を迎えた中国観光の新しい魅力を感じすることもできます。

シルクロード観光の知られざる魅力

東アジアと地中海世界を結ぶ交易路だったシルクロードは、商人だけにとどまらず、国の使節や武将、宗教家や芸術家なども往来し、仏教や美術、思想なども伝えながら、周辺地域の歴史や文化を育んできました。また、砂漠や山岳地帯などの地勢の厳しさは、苦難に満ちた道行を



1970年代に発見された兵馬俑坑には、陶俑陶馬8000点と青銅器4万点余があり、坑内に整然と並ぶ雄姿は見るものを圧倒します



西遊記の三蔵法師が持ち帰った経典を保存するため建立された大雁塔の北側にある広場からは、大雁塔を最も美しく望めます



「中国五岳」の一つである華山は、古くから道教の修行の場として知られ、西安から日帰りして急峻な山容を楽しめます



唐の高宗と則天武後の共同陵墓である乾陵には、数多くの石刻人形や石刻獸、華表(標柱)が並び、唐代の皇帝の権威が偲べれます

